

## 子ども会活動について

子ども会育成会地区理事長 9組 林 義博

### ● 夏祭りが終わって

今年度、育成会長をさせて頂いております林です。

日頃から、子ども会活動にご理解、ご協力頂きありがとうございます。

今年は、田中野田夏祭りが30周年ということで、盛大に終わりました。

あゆのつかみ取りも突然の雨が降り一時はどうなるかと思いましたが、子ども達のうれしそうな顔を見れて良かったと思います。

子ども会としては、今年も、樽太鼓・銭太鼓ともに町内の方々にご指導、ご協力頂き、とてもよい舞台が出来大変感謝しております。連日の練習を終え子ども達の自信にあふれた顔をみると、とても頼もしく思います。子ども達も、また私自身もとても良い経験ができました。

最後になりましたが、今後も子ども会を通じて子ども達と共に地域、町内の方々より良い活動を行えるようにしていきたいと思っております。



### ● 「右肩に岡山」 第50代監督 原 拓也

このことを合言葉に2013年度のチームはスタートしました。

ユニフォームの右肩に「岡山」の文字が入っているチームは県大会に岡山市代表として出場した経験のあるチーム、つまり市子連中央大会でベスト4以上の成績を残した実績があるということです。

新チームのスタートは苦い経験から始まりました。昨年10月、フレンド新人戦では、準決勝タイブレーカーの末、抽選で負け、西・御南9チーム中4位。悔しい思いをしました。

このままでは「岡山」の文字は夢のまた夢。まずは体力だ！ 冬の練習では、まったくボールに触らず、ランニング、ダッシュ、腕立て、腹筋、スクワットなど陸上部のような練習をして基礎体力の増強に力を入れました。

そして2月から7月までに練習試合を毎週のように行い、弱点をみつけては直していきました。市子連大会前日、選手は自分達の使っているヘルメットキャッチャー道具、グローブ、バットをピカピカに磨きました。明日の試合で勝てますように。そんな願いを込めて磨いていたと思います。

大会当日、1回戦、2回戦ともに強豪チーム。見事ベスト16を決めて、7月21日の本戦に駒を進めました。このころには、大人も子供も「右肩に岡山」を疑わず、本気で目指していました。

7月21日、あと二つ勝てば、ベスト4。なんとしても勝ちたい！ 選手、コーチ、お母さん、応援の全員がひとつになっていました。ベスト4を決めたとき、選手達は抱き合って泣いていました。

「やったー！ やったー！ 岡山ついたー！！」

決勝戦、V3をかけた陵南平野チームと対戦しました。惜しくも負けはしましたが、たくさんのギャラリーが田中野田の選手を応援してくれて本当に幸せな時間でした。市子連中央大会準優勝！ おめでとう選手諸君！ 田中野田ソフトボールチームは最高のチームです。これからも応援よろしくお願ひします。

